２０２３年度

社会福祉法人さざなみ学園

事　業　計　画　書

令和５年（2023 年）３月

社会福祉法人さざなみ学園
理事長　平田　善麿

Ⅰ．　２０２３年度　　法人事業計画

１，法人の運営方針

運営理念（組織の使命、存在理由：何を成すために存在するのか）

私たちは、生きづらさを抱えた子ども達の権利を擁護し、環境を整え、子ども達の健全な発達保障と社会自立を目指します。

基本方針（理念を果たすための組織のあるべき姿：どんな組織を目指すのか）

○地域に開かれた適正な施設運営に努め、福祉サービスの充実、質の向上を目指します。
○保護者、地域社会（学校・地域・関係機関）と連携に努め、児童をとりまく諸課題を共に解決していきます。
○児童の人権を擁護し、主体性を尊重した支援と自治的精神の涵養に努めながら、個々の児童を援助していきます。
○個々の児童に対して正しい理解と適切な療育を行い、信頼関係を回復し、自立の力を身に付けられるよう援助していきます。
○児童がより生きがいをもてるように、生活体験プログラムの構築と生活環境の調整・整備を行っていきます。
○学校教育との協調連携を密にし、児童の共通理解を深めると共に、指導の一貫性を図るよう努めていきます。
○協力して療育にあたれる民主的な職員集団の形成に努めると共に、学識や学際的な技法の導入の必要性に鑑み、社会の諸資源との連携を密にしていきます。
○地域社会の福祉ニーズの掌握に努め、社会貢献できる施設となるよう、施設機能を発展させ施設設備の充実を図っていきます。

2,　　理事会開催予定

１）　第１４９回　２０２３年度 第１回 理事会

開催予定日　２０２３年　５月２０日（土）午後１時３０分～

議 案　１．２０２２年度事業報告
２．２０２２年度決算報告
３．役員の再委嘱・異動
４．評議員会の開催日程
５．新事業　土地購入による定款変更
６．新事業 設計業者の入札
７．その他
・2022 年度 指導監査結果

２）　第１５０回　２０２３年度 第２回 理事会

開催予定日　２０２３年　６月１４日（水）午後１時３０分～

議 案　１．理事長及び常任理事選定
２．その他

3） 第１５１回 ２０２３年度 第3回 理事会

開催予定日 ２０２４年1月２１日（日）午後1時３０分～

議 案 １．２０２３年度事業中間報告

２．今後の事業展開

３．新事業 設計業者の入札結果

４．新事業 施工業者の入札

５．その他

4） 第１５２回 ２０２３年度 第4回 理事会

開催予定日 ２０２４年 3月３０日（土）午後1時３０分～

議 案 １．２０２３年度補正予算

２．２０２４年度事業計画

３．２０２４年予算

４．勤務・給与規程変更案について

５．新事業 建設費用の銀行借入

６．その他

3，評議員会開催予定

第7回 ２０２３年度 第1回 評議員会

1） 開催予定日 ２０２３年 6月１４日（水）午前１０時００分～

議 案 １．２０２２年度事業報告

2. ２０２２年度決算報告

3. 理事の選任

4. 新事業 土地購入による定款変更

5. その他

・新事業　設計業者入札

・2022 年度指導監査結果

4， 監事監査の実施予定

1） ２０２３年度 監事会

開催予定日 ２０２３年 5月１８日（木）午後1時３０分～

議 案 １，２０２２年度事業報告・決算報告監査

２，２０２３年度事業計画・予算報告

３，その他

Ⅱ．　２０２３年度　　運営・療育目標

1）施設の運営方針

基本方針

2020 年度以降のここ 3 年間、新型コロナウイルス感染症の出現と拡大に伴い、子どもたちの生活の中に、コロナウイルスを入れない・感染させない・広めないという意識を職員全員が強く持ち、日々の療育に努めてきた。この新型コロナウイルス感染症は感染法上、5 月には 2 類相当から 5 類に引き下げられるが、子どもたちの生活においては、持ち込まないという意識を高く持ちながら、子どもたちの療育に必要な活動を実施できるように努める。

2019 年度当時に勤務していた職員全体が共有し、その後においても継続して我々職員が持ち続けている『子どもの幸せを応援する』というスローガンのもと、行動指針に従った療育につながるよう、職員みんなで確認しながら、学園の役割について更に検討を行う。こうした中で、日々の治療や療育の実践に引き続き取り組む。

また職員個々の職種や立場が異なっても、『常に職員は一つのチームである』という意識を強く持ち、子どもたちの支援に努める。加えて、県内では唯一の児童心理治療施設としての役割を強く認識し、治療・療育の実践に努めると共に、今年度こそは自死事案の振り返りと共にその検証を行う中で再発防止に努め、他機関からの信頼回復をはかる。

また今年度は当園設立 60 年を迎えるにあたり、施設整備についても一層、取り組む。

加えて、県内の児童福祉的課題を明確にする中で、理事会及び職員と共有した新施設の設置と共に、新事業の展開としての地域支援事業の具体的な実施に向けて、とても重要な年度となる。そのため、地域との新たな連携を築くため、こども総合療育支援センター化構想を具体化させるため、センター長を置く。（要保護児童対策協議会・地域養護・県、市教育委員会、市町の福祉関連事業所他との連携の強化）

事業計画

１．上記、新たな構想案をもとに、さざなみ学園中長期運営計画を再度見直す。

①「施設設備基本構想」についてはネクスト委員会で協議を行う。昨年度から引き続き、療育方針に則って治療や療育を実践できるように、「生活安定検討チーム」「環境整備検討チーム」「性教育検討チーム」で検討していく。児童心理治療施設職員として必要な知識等の習得や専門性の向上については、昨年度「職員研修推進チーム」で作成したプログラムの内容を全体で共有し、内容を精査していく。また全児心でキャリアパス制度について検討する動きがあるため連動して検討出来るよう取り組む。また全体とし療育方針が子ども達の生活のあらゆる場面で定着していくことを目指す。

②　検討内容を運営委員会に提議し、中長期計画を修正し理事会へ提言していく。

２．地域支援事業の推進

①　社会福祉法人の地域における公益的取り組みとして 2022 年度、地域支援事業を立ち上げ県社会福祉協議会、地域養護推進協議会と共に支援事業を行ってきた。今年度も、引き続き支援事業に取り組んでいく。

②　地域養護推進協議会と連携し「里親支援事業」「アフターケア支援事業」「子育て支援事業」など、地域支援を積極的に行うとともに、「スクールサポート事業」等により、彦根市内の小学校の支援を実施する。

③　客観的実績データとして、実践している事業実績のデータ化を図る。

３．人事考課システムの導入について検討を加える

①　職員の専門性の向上と、職員自身が目指すべき道を考察する資料ともなり、自己啓発意識の醸成、モチベーション向上に資することができる育成システムや全国児童心理治療施設協議会と連携してキャリアパスを検討していく。

②　職員個々の取得資格・研修受講履歴ファイル等を作成し、キャリアパスの基礎データ化を図る。

４．働き方の再検討（勤務職員の適正配置を考慮した業務の整理）

① 法令を遵守したうえで運営理念を遂行するため、効率的かつ職員の就労意欲が維持できる勤務の体制と適正配置人数を検討する。
② 勤務職員が一定の自由度が保てる業務の在り方を目指し、生活支援業務を整理・調整する。
③ 個別的な支援と全体の生活支援とのバランスを考慮した、俯瞰的視点に努める。
④ ハラスメントのない、より良い職場環境づくりを目指し、第三者の識者の助言を受けながら、職場内のコミュニケーションの向上を図る中で快適な職場環境の実現に努める。

５．法人が行う地域支援事業と古沢ホームの有効活用について具体的に事業を展開する。

厚生労働省は全国の社会福祉法人に対して、積極的な地域支援を 2021 年度に入り強く要請している。　加えて、滋賀県地域養護推進協議会と滋賀県社会福祉協議会が設置・運営する地域支援事業の（北部拠点）開設に向けた動きも急加速し、2021 年 7 月に守山で開設されたつながり若者センター守山・マザーボードに続き、2022 年 12 月にアルプラザ彦根 4 階に相談支援機能を持つ、**つながり若者センター彦根（コージータウン）が開設された。6 階には若者の居場所と食堂が開所した。**【COZY；ほっこりとした居心地の良い空間】〈パンフレット参照〉

・当法人（学園）も 2022 年 5 月から古沢ホームで地域支援事業を先行的に開始し、12 月からは、つながり若者センター彦根の開設を待って、移転し共同支援事業にあたってきた。2023 年度については地域支援事業の職員として 4 名があたる。　〈資料２；2023 年度職員体制図　参照〉

全県をカバーする地域支援コーディネーターも昨年度同様に当園から 1 名が出向する。（つながり若者センター守山・マザーボードに出勤し、滋賀県全域をカバーする。）

・近未来の展望として、<u>さざなみ子ども総合支援センターの設立を目指す。</u>　〈資料１参照〉

上記の各地域支援事業の充実と共に**古沢ホームの有効利用**に加え、**乳児・幼児、低年齢児童の養育のための子ども総合療育支援センターの設置に向け、地域支援センター長を中心に具体化させていく。**（心理治療等が行える相談支援センター・クリニックの設置）

・2025 年 4 月、開所を目指している**乳児・児童養護施設等の設立**についても、今年度から 1 名をこばと乳児院等に研修派遣し、乳児の養育のノウハウの習得と共に、我々の思いのこもった建物になるよう、設置のための準備を行う。加えて**土地の取得や設計入札、クラウドファンディングの活用、本設計、施工入札と本建築等、順次計画的に進めていく。**　〈資料　理事会・評議員会・監事会の予定　参照〉

療育目標

１．担当職員をタイムリーにサポート出来るチーム体制を目指す。（親担当、職員のサポート、現場での連携、CC 等）
２．『子どもの幸せを応援する』ために、療育方針に沿った子どもへの支援の見直しや充実を図る。
３．入所時に、児相と入所の目的や支援の方向性を共有すると共に、アセスメントを繰り返す中で、PDCA サイクルに従った治療や関わり方の見直し、方向性の確認に努め、子どもたちや保護者と共有しながら今後の見通しや治療支援の方向性など、2 年ごとに見直す機会を持つよう努める。

1　高校生の進路指導に関して、児童の主体性を尊重しながら、保護者及び関係機関と連携を図り、退所後の継続支援（地域養護支援）につながるよう適宜、調整会議等を開催し適正な進路決定に努め、アフターケア事業に繋げる。
2　自立支援計画に従い、支援目標や将来的な退所の見通しを持ち、早期から計画的な支援に努める。
3　ケースカンファレンス等で生活支援・治療効果等を評価し、再アセスメント・再プランニングを行い、支援継続していくため、PDCA サイクルに沿った療育を実践していく。
4　児童の社会自立支援強化を目指し、リービングケアからアフターケアへと継続した支援の在り方を検討し、系統立てを目指す。

２）施設概要

事業所名　　社会福祉法人　さざなみ学園　　定員 50 名　　暫定 46 名
事業場所　　滋賀県彦根市鳥居本町 1586
職 員 数　　正規職員　35 名（育休等含む）・パート職員 2 名・嘱託医 1 名・アルバイト 4 名

1　入園状況（毎月の初日における児童数；停止を含む）　；　一時保護委託は（　）内

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2019	39	39	38	38	38	37	37	37	36	36	36	36	37.3
2020	27	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25.2
2021	23	23	23	23	23	25	25	25	25	25	25	24(1)	24
2022	21(1)	21(1)	21(1)	20(1)	20(2)	20(2)	19(2)	19(2)	19(3)	19(1)	18	18	19.5

2　職員数及び職種　【2023.4.1】

	職種	正規職員	パート職員	計	備考
学園	施設長	1		1	
	副施設長	1		1	
	ケアワーカー	20	2	22	
	セラピスト	6		6	
	看護師	1		1	
	調理員等	4	1	5	
	事務	2		2	
地域支援事業	里親支援	(1)		(1)	学園本体と兼務
	地域支援	(4)		(4)	
	医師		1（嘱託）		
合計		35	3	38	

※　上記以外に滋賀県地域養護推進事業　マザーボードに１名　出向

3　勤務体制

職種	勤務形態	勤務時間	休憩
ケアワーカー セラピスト	早出	７：００　～１６：００	６０分含む
	常勤	１３：００　～２２：００	６０分含む
	夜勤 非番	１６：００　～翌９：３０	９０分含む
	日勤常勤 翌日	９：００　～２２：００ ９：００　～１４：００	１２０分含
全職員	日勤	９：００　～１８：００	６０分含む
	半勤	１日４時間を午前・午後・夜に勤務　早出の勤務も可	
調理員 栄養士	早出	６：００　～１５：００	６０分含む
	遅出	１０：３０　～１９：３０	６０分含む

4　日課・週間（月間・年間）予定

（1）　日　課

平　日　日　課		休　日　日　課	
７：２０	起床・洗面	７：５０	起床・洗面
７：３０	朝　　食	８：００	朝　　食
８：１５	身辺整理		自由時間
８：４０	登　　校	１２：３０	昼　　食
１５：３０	下　　校	１３：３０	自由時間
１６：００	自主活動（ セラピー・グループワーク・掃除など）		
１８：００	夕食・入浴		以下平日に同じ
１９：００	自由時間・入浴		※日曜日は掃除
２０：００			
２１：００	小学生就寝		
２１：３０	自主学習		
２２：００	中高生就寝準備		
２３：００	消　　灯		

（2）　週間予定表

曜日	第　1　週	第　2　週	第　3　週	第　4　週
月	購買	購買	購買	購買
火	さざなみヨガ	さざなみヨガ	さざなみヨガ	さざなみヨガ
水	サッカー活動	サッカー活動	サッカー活動	サッカー活動
木	運営委員会 給食委員会 健診日	健診日	健診日	健診日
金	全体会議 学部ミーティング 1on1 ミーティング	ケアワーカーミーティング 副主任会議	検討チーム会議 さざなみスポーツプラス	職員研修
土				
日	作業	作業	作業	作業

（3） 年間行事予定表

月	法人・学園予定	全体活動・行事	体験型行事	保護者会活動	学 校 行 事
４ 月		部屋替え			入学・始業式
５ 月	理事会・監事会			保護者会総会	PTA 総会 修学旅行
６ 月	理事会・評議員会				体育祭
７ 月				個別懇談	終業式
８ 月		納涼フェスタ	男女別夏行事	納涼フェスタ	夏休み
９ 月					始業式・修学旅行
１０ 月		部屋替え			文化祭
１１ 月	新聞発行		男女別秋行事		
１２ 月		クリスマス会		個別懇談	終業式
１ 月	理事会		男女別冬行事		始業式
２ 月					
３ 月	理事会	退園式・祝賀会		個別懇談	卒業式

3）法人資産（固定資産）の状況

（1）土 地

	所 在 地	地 目	面 積	用 途
1	彦根市鳥居本町１５８６番地	宅 地	４，５１３．８３㎡	園舎敷地・駐車場
2	１５８４番地	田	１，１４０．００㎡	駐車場・遊び場
3	１５８４－１番地	畑	１６．００㎡	遊び場
4	彦根市古沢町７１０番地３	宅 地	１６６．７５㎡	グループケア敷地
合 計			５，８３６．５８㎡	

（2）建 物

	建 物 名 ・ 構 造	延べ建築面積	詳 細
1	児童心理治療施設 生活棟 鉄筋コンクリート２階建	１，４６０．９１㎡	１Ｆ ８０７．８４ ㎡ ２Ｆ ６５３．０７ ㎡
2	管理棟・自立推進ユニット・心理治療棟 鉄筋コンクリート２階建	８１４．４０㎡	１Ｆ ５７３．１７ ㎡ ２Ｆ ２４１．２３ ㎡
4	倉庫 木造 ２階建て	５７．７６㎡	１Ｆ ２８．８８ ㎡ ２Ｆ ２８．８８ ㎡
5	分園型小規模グループケア 古沢ホーム 軽量鉄骨２階建	１１７．５１㎡	１Ｆ ６８．０３ ㎡ ２Ｆ ４９．４８ ㎡
合 計		２，４５０．５８㎡	